

1 日時 令和5年6月12日（月） 午後2時から午後4時

2 会場 市役所特別会議室

### 3 目的

低賃金や非正規雇用の拡大など、働いても暮らしが成り立たない人々が増加し、子どもや女性の貧困が社会問題化するなか、学校時代を経て実社会に出る若者たちの一部では、“暮らしが成り立つ”という観念さえ持てず、家庭を持つことも若者の選択肢から消えてしまいつつある。そのような不安定な生活基盤や希薄な社会関係のなかで、若者が安心と希望をもって人生を歩むことができるよう「誰一人取り残されない」社会を実現するため、行政や地域にどんな政策と役割が求められるのか考える契機とする。

4 テーマ 「今、若者たちに何が起きているのか？  
一貧困と格差の社会にしないためには一」

5 講師 宮本 みち子 氏 千葉大学名誉教授・放送大学名誉教授

6 参加対象者 本市職員、子ども・若者支援団体関係者、こおりやま広域圏の自治体職員、一般市民（計約100人）

## 宮本 みち子 氏 プロフィール

### ◆略歴

昭和22（1947）年長野県松本市生まれ。東京教育大学（現・筑波大学）文学部経済学専攻卒業、同社会学専攻卒業、お茶の水女子大学大学院修士課程修了。社会学博士。千葉大学教授、ケンブリッジ大学社会政治学部客員研究員を経て、現在、千葉大学・放送大学名誉教授。



専門は社会学。主な研究テーマは、若者の社会的包摂政策、少子高齢化社会のライフスタイルなど。若者への社会保障政策の権威として、政府のこども政策の推進に係る有識者会議委員、子どもの貧困対策に関する有識者会議座長等を歴任。

### ◆著書

「アンダークラス化する若者たちー生活保障をどう立て直すかー」（明石書店 2021年）  
「下層化する女性たちー労働と家庭からの排除と貧困ー」（勁草書房 2015年）  
「若者が無縁化するー仕事・福祉・コミュニティでつなぐー」（筑摩書房 2012年） など多数